



発

情

中

豚平
邪魔ver

るなた-く

あやねちゃん…
いつ見てもかわいいなあ

普段はツンとして男子達を
いっさい寄せつけないオーラを
出してるけど…
時折り見せる笑顔がたまんない
んだよね…

この写真は
その千載一遇のチャンスをつかえた
正に至宝の一枚…

ファンクラブ(非公認)の連中が
大金を積んでも決して首を立てに
振らずに守り抜いた僕の最後の希望…!

今日も
いっしょに帰る♡

だがそれも昔の話…

豚平く〜ん

なぜなら…

僕は今…
あやねちゃんと
付き合っている!



僕がいつものように
質屋で掘り出し物を漁って
いると...

牛島 質 電話

きっかけは些細な事だった



スケール
トン

無意識のうちに
意中のあの子の
秘部がうずかす
パラワン島産
ほれ薬 4,800



僕はソフビ人形を断腸の
思いで諦め...



お客さん運がいいねた
そいつは昨日仕入れた
ばかりの逸品さ

今朝まで三本あったんだが...
そいつが最後の一本だよ
...くく

半信半疑で薬を作成し
夜中...早速あやねちゃんに
使ってみた



ありがとう質屋のおじさん!



すると次の日
僕は突然あやねちゃんに
呼び出され...
晴れて告白されたのである

私と...
付きあって
くれますか?

あの...

しかも
うれしい事に…

はー

はー

この薬は性欲を増幅させる効果も
あるらしく…昨日からあやねちゃん
何度も僕を求めてくる

ひょっとして…
またしたいの？
あやねちゃん

昼休みにも
したばかりなのに…

じゃ…足開いて
よく見せて…

すごい…
トロトロだあ…これ
汗じゃないよね？

あ…
そんなに見ないで…
恥ずかしいよ





僕はあやねちゃんに連れられ
山の奥まで入っていった

しばらく歩くと静かな川辺があり
僕はそこに腰を下ろす事にした



ね…
ねえ…豚平くん…

もっと…一人きりに
なれる所に行か
ない？



あぁ

あぁ

ここは子供の頃
よく一人になりたい時に来てた
秘密の場所なの…

ここなら…誰も来ないから…
人目も気にならない…し…

あん♡

そ…そうだね
じゃあさ…

僕…ここで…
あやねちゃんの
裸…みたいなあ

…ね！
お願い！

え…

…うん

ムキ

ム子

みー
みー



…うん
キレイだよ
あやねちゃん

豚平くん…

…
うわっ

やっぱり…
恥ずかしいよう
豚平くん…

ド
キ



今日はこれで五回目の挿入
だったかな

あやねちゃんと付き合うように
なつてから帰りは送迎バスには乗らず
2人でデートするのが日課になっている

昨日は映画館で挿入：
おとといは神社の物陰で
フェラチオしてもらった

はあはあ
…すごい…
いっぱい入ってくるよ
豚平くん！

もっと奥まで
犯して…

はあはあ
う…うん！
じゃあ…全力で
いくよ





あ...はあん...

豚平くんのぶつといチンポ...
...とつても気持ちいいのお...

うおおお

フッ

ズッポ

ズッポ

ズッポ

ズッポ

もつとお...
もつと...ズボズボしてえ...

フッ

フッ

ふう

ふう

やん

ああん

クッキュ

クッキュ

カッ

あんクッキュ

はあ
はあ
はあ

うっ

ク
ク
ク

あ…あやねちゃん…
も…もう…いくよっ!
また…
中に出していい…?!

はあ

う…うん…
いっぱい豚平くんの…
ちようだいっ!
あたしも…いっしょに…
イクからあ…
…きてえ…!

はあ

ク
ク
ク

ク
ク
ク

はあ

はあ
あ
と
と
と
と
と
と

と
と
と

と
と
と
と
と

今日も帰りが遅くなりそうだ

ビクン
ビクン



7月12日(日)

今日は村の花火大会の日



小学生の時以来全くといっていいほど参加していなかったこのイベントも今年はややねちゃんと一緒にだったのでとても楽しい時間を過ごす事ができた

ドーン

祭りも終盤に差し掛かった頃



僕はもう我慢できなくなり
ひと気のないところへ
あやねちゃんを連れて行った

はあ





はあ

レロレロ

僕…さつきから
あそこがもう…
キンギンなんだよね…

はあはあ…
あ…あやねちゃん…

あ

はあ

ククイイ

んふい

僕の…
舐めてくれる？

気持ちいい？
豚平くん

…うん…
いいよ

ふう

ふう



あやねちゃんは僕のチンポの
根本を掴むと喉の奥深くまで
押し込んだ...

うっ...

か
か
か

じゅ
ぽ

じゅ
ぽ

ん

あやねちゃんの熱い唾液と
少し荒い鼻息に攻め立てられ
僕の尿道は早くも決壊寸前だったが
一発ハメるまでは...と歯を食いしばって
あやねちゃんの攻めから射精を耐えた...

と...とって
も
あやねちゃん
気持ちいいよ

じゃあ...
そろそろ...

ちゅば

今度は
おっぱいでもして
あげる♡

ん
ずちゅ

ん

ちゅば

ん

えっ...

ちゅば



うみ... ビクッ

ちゃば

ちゃば

う... う...

ん♡

これは...

もうっ

ちゅ

はあ

...た...たまらん!



とっぴゅ

はい

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

...もう限...界...

うっ

ビクッ

7月13日(月)
今日はいつもより早起きして
一本早いバスで通学



今日はあやねちゃんにお願いして
1日ノーパンで過ごしてもらおう
事にした

この時間帯はまだほとんど
人が居ないんだよね



学校までの道中全然生徒が乗る気配が
無かったので僕はあやねちゃんの
オマンコをずっと舐めていた
運転手さんがたまに訝しげにこちらを
気にしてたけど僕は全然気にしなかった

ガタン

別に昨日の事を根に持ってるわけじゃないけど...
なんとなくあやねちゃんにしてやられた感じが
あったからか...
ちよつとあやねちゃんに意地悪したくなったのだ



はあ
はあ

はあ

くちゅ
くちゅ

むちゅ
ううう



学校では僕とあやねちゃんが付き合ってることは秘密にしているので教室では僕達はいほとんどしゃべる事はない

あやねちゃんはいつものように自分の席でツンとして周囲の人を寄せ付けけないでいる

授業中：僕はそんな彼女にちよつとしたイタズラをする

昨日徹夜で作った特製の静音ローターで…

スイッチを入れるたびに彼女は一瞬ビクッと肩を震わせる…もちろん僕以外誰も気付いていない僕はそのわずかに曇らせる彼女の表情を楽しみながらぐっしり愛液まみれになっているであらう彼女のスカートの中を想像した

カ子

現代文

現代文



そんな事をしてしばらく焦らして
いると...

4限目の水泳の授業が終わった頃
あやねちゃんからメールがきた

あやね
今から体育準備室に
来れる?

高

ガラ
ラ
ラ

体育準備室

あ

プレ

部屋に入った時から
あやねちゃんは少し興奮していた…

きつと3限目まで
ローター入れっぱなしだったから
ガマン出来なくなつたんだらう

僕はわざともつたいぶる様に
ネチネチとおっぱいや太もを責めると
あやねちゃんはおねだりするような眼で
僕を見つめ返してくる

キニッ

あん

くちゅ
くちゅ

ムフー
あのローターじゃ
もの足りなかった?

ねえ…
豚平くうん
もじと…
…お願ひ

んん?
どうしたの
あやねちゃん?

ずん

もつとぶつ太いの
よかった?



はあはあ...うん...♡

ズッポッ

まだだ...もつとく...しな...

もつと...ぶつと...豚平くんの...ほしい...

ぬりや

ズッポッ

ズッポッ

ズッポッ

豚平くんの舌...ヌメヌメして...気持ちいい...も...も...も...

あやね

あやね

あやね

あやね

あやね

あやね



むふふ…
あやねちゃんの
感じてる姿…
とってもかわいいよ

ああ

グ
グ
グ

ギョッ

は
は
は

っ
っ



おしりの穴も
ヒクヒクしてるよ
こっちにもあげるね

ギョッ
ギョッ

ギョッ
ギョッ



もっと感じさせて
あげるからね

グ

グ
グ

ギョッ

クリ

クリ
グ

あ





欲しい...

豚平くんのおちんちん...

焦らさないで...
もう...
ガマンできないよお

ごろん

と...
豚平くん...

欲しい...欲しいよお...

ビョ
フヤ

はあ

はあ

はあ

...そろそろ頃合いかな
かふか...

にゅるん

ギシ

じゃ...いくよ...
あやねちゃん

しゅん

ズ

うん...きてえ...



あ…!!
奥に…

ズッ

…っあ

キョッ

あたるう…!!

キョッ

はあん

豚平くん!

ああ、
すっいよおー!

あっ

気持ち
いいっ!

はっ!

ズッ

ズッ

ズッ

あっ

あーはうん!!

はあ

はあ

ズッ

頭の中…
おかしくなじきさやじき…



あはあッ

あああああッ

ギン

ドクン

結局僕達は昼休みの間
ずっと準備室でSEXをした

ちゅ。



ん？

あの薬の効き目は
一体いつまでもつの
だろう…



この夢の様な時間も
ないのだから
いつまでも続くわけでは
ないのだ

予鈴のチャイムが鳴る数分前—
僕のちんぽを綺麗に舐めて
くれてるあやねちゃんを見て
ぼくはちよびり切なくなった

あの質屋…
もうやってないだろう
なあ…

そんな事を思いながら
僕はあの怪しい質屋の
主人の言葉がなんとなく
気になっていた

ガラ

じゃあ…また後でね

豚平くん

